

令和 7 年度 学校教育目標、学校経営方針

憲法・教育基本法・学校教育関係法令・県、市の教育方針・教育振興計画

教師、保護者、地域の願い

児童の実態

夢もつ子

心豊かでたくましく、夢に向かって挑戦できる子どもの育成

めざす児童像

めざす学校像

めざす職員像

○進んで学ぶ子

進んで学び、自分の考えを表現できる子ども

○素直で明るい子

朗らかで、礼儀正しく
思いやりのある素直な
子ども

○たくましい子

心身を鍛え、最後まで
粘り強く取り組む子
ども

○子どもが行きたいと学校

嬉しい出来事がある学校

○保護者が通わせたいと思 う学校

いじめのない信頼される
学校

○地域が支えたいと思う学 校

地域とともにある開かれ
た学校

※職員が誇りに思う学校

○子どもに対する「教育
愛」があふれる職員

○仕事に対する「情熱と使
命感」を抱く職員

○学び続け「専門性と協調
性」を高める職員

《学校経営方針》

子どもたちが将来に夢や希望をもつことは、とても大切なことである。夢や希望は、人生を切り拓く原動力になるだけでなく、今後の生き方の方向性をも決定することがあるからである。ただし、ここで重要なのは「夢」は必ずしも具体的な将来像、例えば職業や職種、役割に限らなくとも良いということであろう。少しがんばったら叶いそうな身近な願いや実現できそうな小さな夢をもたせられることも良いのではないだろうか。「夢もつ子」とは、自分の言葉で自身の夢を語ることができる子どものことだと考えるが、その夢は成長する過程の中で変わっていくことも考えられる。だからこそ、子どもたちの夢に制限をかけたり、選択肢をせばめたりしないよう気を付けながら、指導や支援を全職員で行ってきたい。

新校舎での生活が始まるが、きまりや約束事等を新たに考える等、忙しい中でのスタートになる。そんな中でも上記の教育目標の具現化やめざす児童像・学校像を実現できるよう一致団結して取り組んでいきたい。また、今年度の合言葉を「リボーン（再生）」とし、全職員、全児童で新たな西浦上小学校をつくっていくようにする。

- 1 互いの違いを認め、一人一人を大切にする職員集団
- 2 和と話と輪で和気藹々な職員室
- 3 報告・連絡・相談で危機の未然防止と早期解決